



WORLD
HOLDINGS

2021年12月期 決算説明資料

第1四半期

“人が生きるカタチ”の創造

2021年5月12日（水）

株式会社ワールドホールディングス
東証1部(2429)

I. 2021年12月期 第1四半期決算概要

- ・ 決算サマリー … P4
- ・ 業績概況 … P5
- ・ セグメント別業績概況 … P6
- ・ 各セグメント詳細 … P7
- ・ 財政状態 B/S … P16

II. 2021年12月期 業績見通し

- ・ 2021年12月期 通期業績見通し … P18
- ・ 2021年12月期 セグメント別業績見通し … P19
- ・ 株主還元 … P20

III. Appendix

- ・ ワールドホールディングス会社案内 … P21



I . 2021年12月期 第1四半期決算概要

決算サマリー

全体サマリー



- 基幹の人材・教育ビジネスが好調に推移しグループ全体を牽引、売上・利益ともに**計画以上に推移**
- 昨年対比では、売上高は不動産事業において前第1四半期に大型物件の引渡しがあったため減収幅が大きく全体で減収となるも、営業利益・経常利益は大幅増益

各事業サマリー

人材・教育 ビジネス



- 主力のファクトリー事業を中心に計画を大幅に上回る等、**好調に推移**

【好調な要因】

- ✓ 幅広い領域を持つ強みを活かし“シームレス”な領域間の連携による取引幅の拡大
- ✓ 5Gや物流等の注力分野の見定め・戦略的な資本投下が奏功
- ✓ コロナ禍でも「雇用の維持」を最優先にしたことで機動的な対応が可能となった
- ✓ 的確な営業戦略によりコロナの特需的要素を取り込んだ

不動産 ビジネス



- 未だ不動産のバブル的状况が続く中、**引き続き慎重な事業展開**
- 市場の反転に備え、資金準備や金融事業の展開等を進める

情報通信 ビジネス



- 携帯電話販売業界が、コロナ禍の影響に加え、政府からの携帯電話料金値下げ要請に応じた各通信事業者の新プラン導入等により再び大きな変革期

その他



- 農業公園の施設運営管理に関して、本来「密」にならない屋外施設であるという強みを活かした適切な誘引施策により順調に回復

業績概況

- 計画比における、**利益面での大幅達成は、好調な人材・教育ビジネスが寄与**
- 前年同期比における、売上高のマイナスは不動産事業において前第1四半期に大型物件の引渡しがあったため、また、前年の四半期純利益には子会社の売却に伴う税効果の影響を含む

(単位: 百万円)

	2020/1Q 実績	2021/1Q 計画	2021/1Q 実績	計画比		前年同期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	36,480	32,499	33,032	532	1.6%	△3,448	△9.5%
営業利益	1,358	1,053	1,682	628	59.7%	323	23.8%
経常利益	1,393	1,030	1,825	795	77.2%	432	31.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,640	727	1,324	596	81.9%	△316	△19.3%

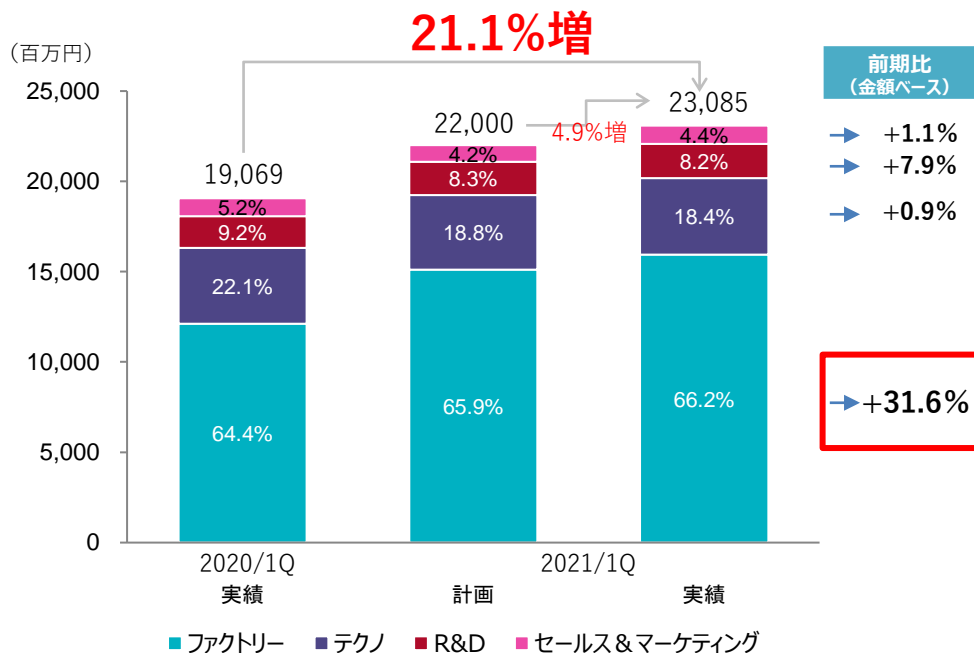
セグメント別業績概況

(単位：百万円)			2020/1Q 実績	2021/1Q 計画	2021/1Q 実績	計画比		前年同期比	
						増減額	増減率	増減額	増減率
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	12,114 466 (3.9%)	15,114 630 (4.2%)	15,941 714 (4.5%)	826 83	5.5% 13.2%	3,826 247	31.6% 53.1%
	テクノロジー事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	4,207 462 (11.0%)	4,134 307 (7.4%)	4,246 543 (12.8%)	111 236	2.7% 76.7%	38 81	0.9% 17.6%
	R & D 事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	1,750 170 (9.8%)	1,833 165 (9.0%)	1,889 218 (11.6%)	56 52	3.1% 31.7%	139 47	7.9% 27.9%
	セールス&マーケティング事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	997 8 (0.9%)	918 △45 -	1,008 △12 -	90 32	9.9% -	11 △21	1.1% -
計 (参考)		売上高 セグメント利益 (利益率)	19,069 1,108 (5.8%)	22,000 1,059 (4.8%)	23,085 1,463 (6.3%)	1,085 404	4.9% 38.2%	4,016 355	21.1% 32.1%
不動産ビジネス	不動産事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	14,238 861 (6.1%)	7,567 667 (8.8%)	6,783 740 (10.9%)	△783 73	△10.4% 11.0%	△7,454 △120	△52.4% △14.0%
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	2,492 91 (3.7%)	2,213 27 (1.2%)	2,443 4 (0.2%)	229 △23	10.4% △84.8%	△49 △87	△2.0% △95.5%
その他	その他事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	679 △141 -	718 △120 -	719 △62 -	1 58	0.2% -	39 79	5.9% -
合 計		売上高 消去又は全社 営業利益 (利益率)	36,480 △560 1,358 (3.7%)	32,499 △579 1,053 (3.2%)	33,032 △464 1,682 (5.1%)	532 114 628	1.6% - 59.7%	2,417 96 323	△9.5% - 23.8%

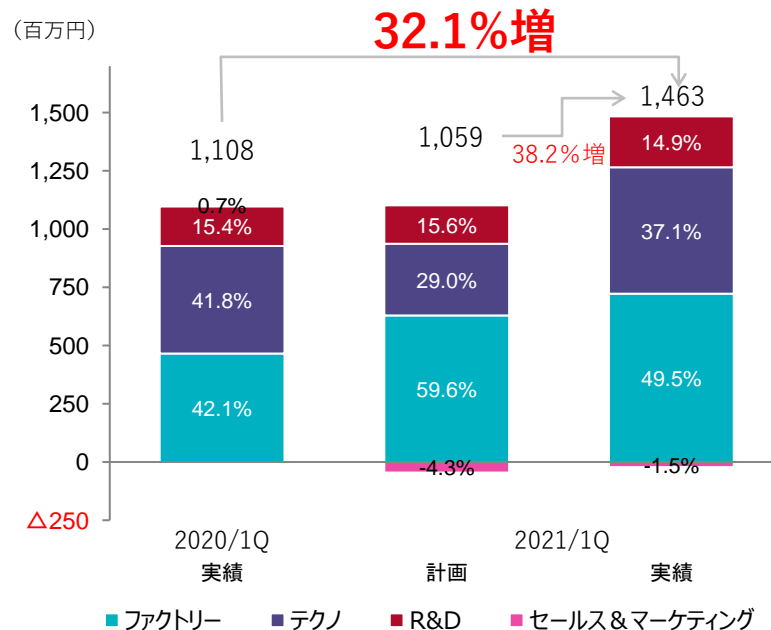
人材セグメントの売上高・セグメント利益の事業別構成比

- 主力のファクトリー事業が大幅に伸長し全体を牽引
- 採用手法の改善・コスト削減努力による販管費の削減等により利益面も大幅増
- 複数領域をカバーする強みを活かしたシームレスな領域間連携によって差別化を図る

◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益 構成比

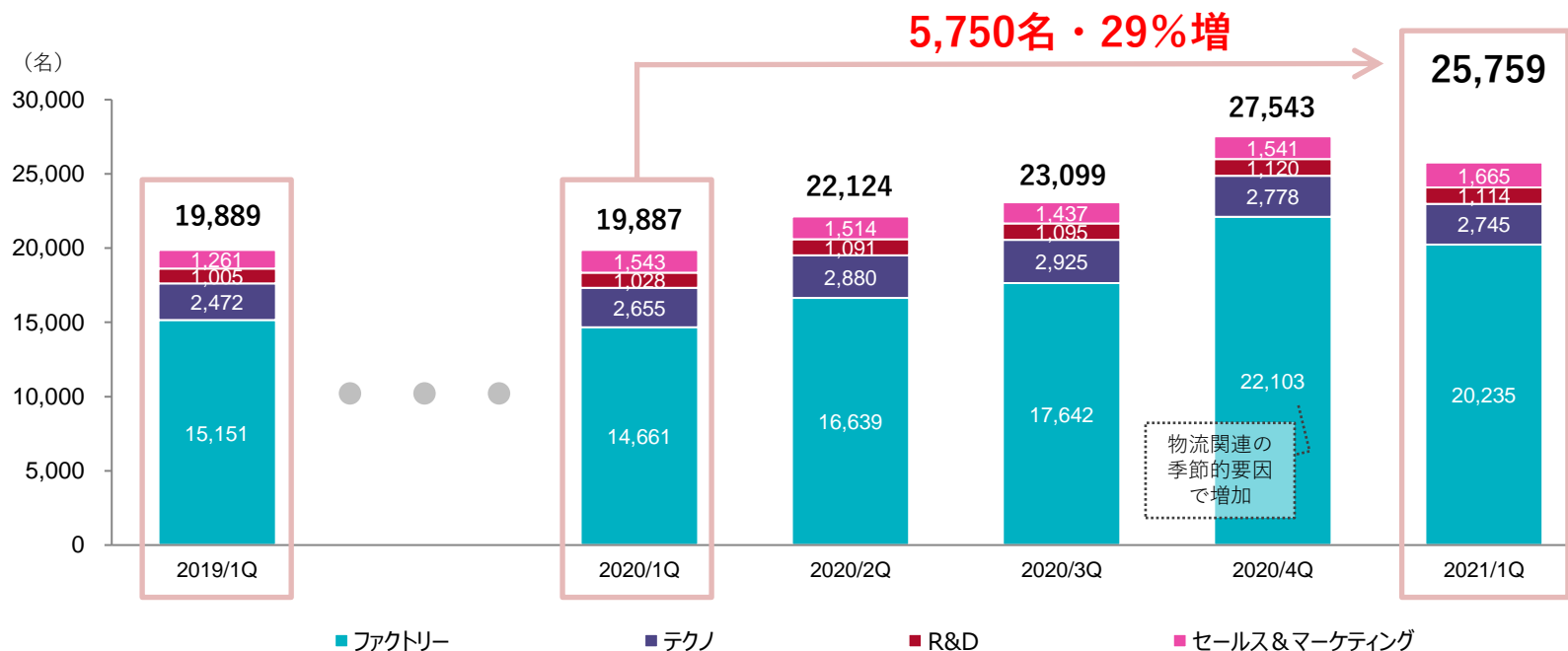


人材セグメント全体の在籍数の推移

前期比においてファクトリー事業が大幅増

- 物流関連での新拠点開拓等により在籍数が大幅に増加
- 加えて、5G関連が好調で半導体・機械関連も増加

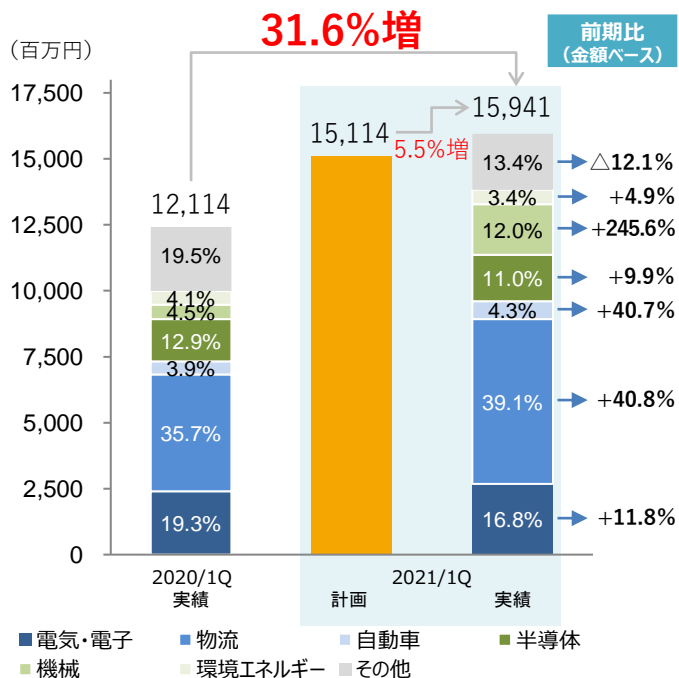
◆在籍数※（3ヶ月平均）の推移



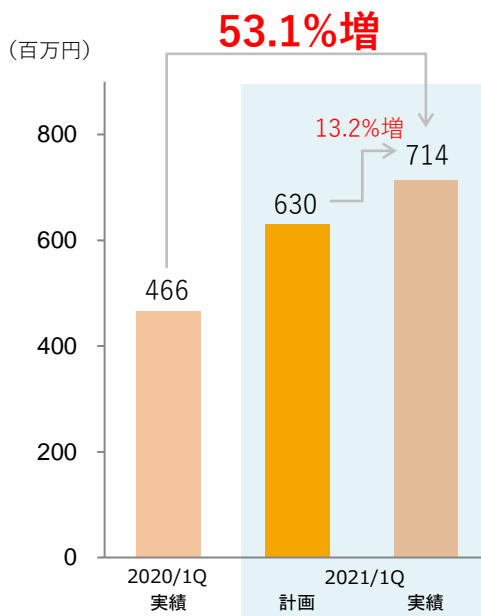
※ ファクトリーの在籍者数については他社受入の外部人員を含む

- 5G・半導体関連が引き続き好調、自動車関連をはじめとした全分野とも総じてコロナショックからの回復が顕著で大幅な増収増益
- 物流分野は昨年の新拠点開拓により底上げ
- コロナショック下においても雇用の維持を最優先に育成体制を継続したことで現場力向上

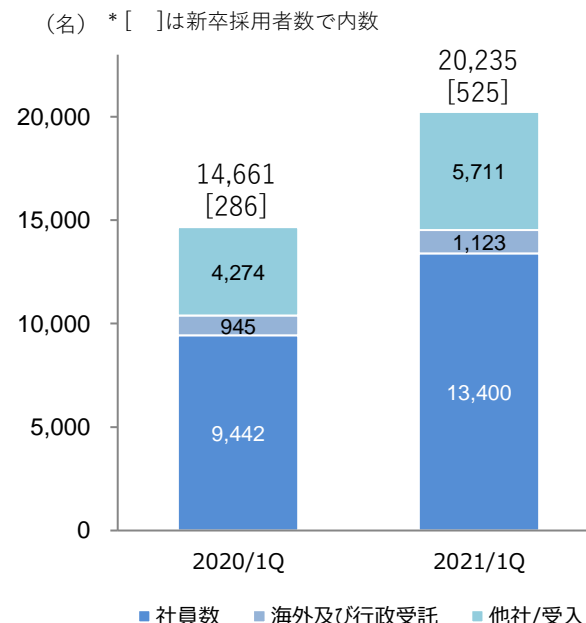
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)

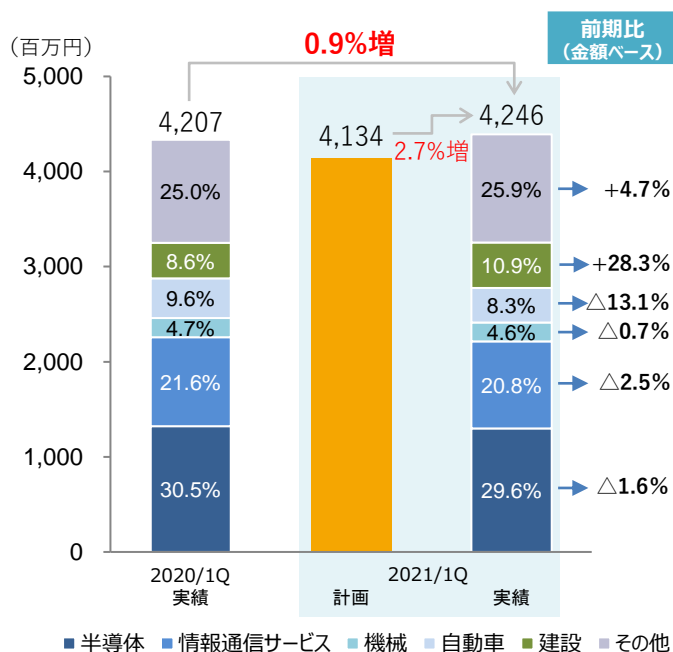


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

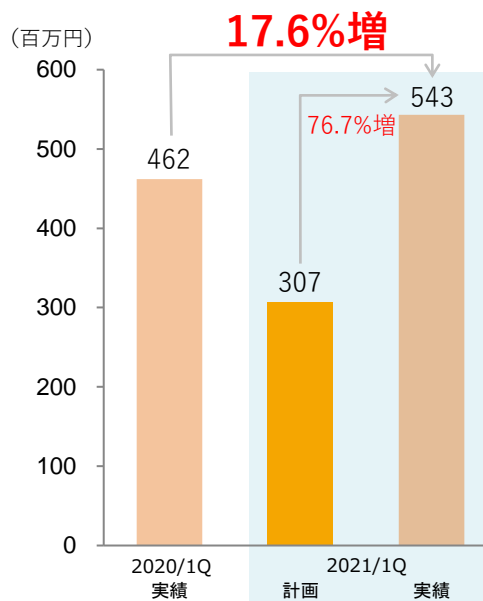
※在籍は3か月平均 他社受入の外部人員を含む
※在籍数は現業社員のみ

- コロナショック後、全分野とも回復基調
- 自動車関連ではC A S E 関連技術の需要増加に合わせ制御技術系の人材育成体制を構築
- 採用手法の見直しに加え、既存社員の人材育成によるスキルアップ・キャリアアップを進め、より質の高い技術力の提供を図る

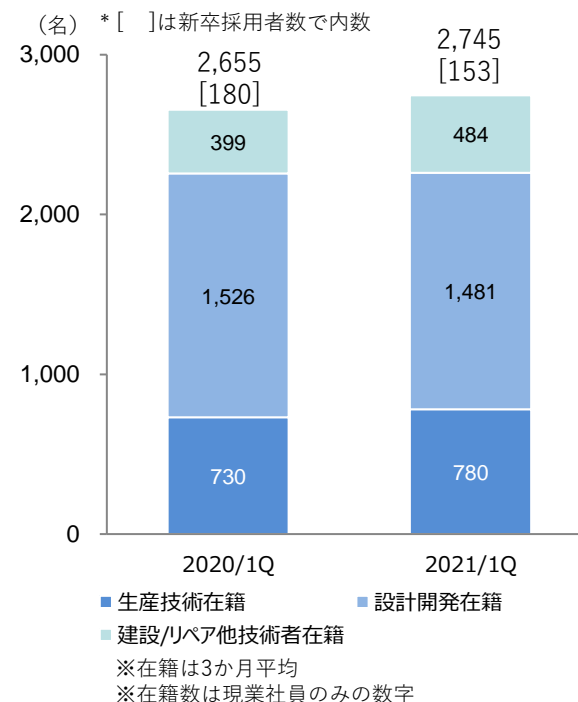
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



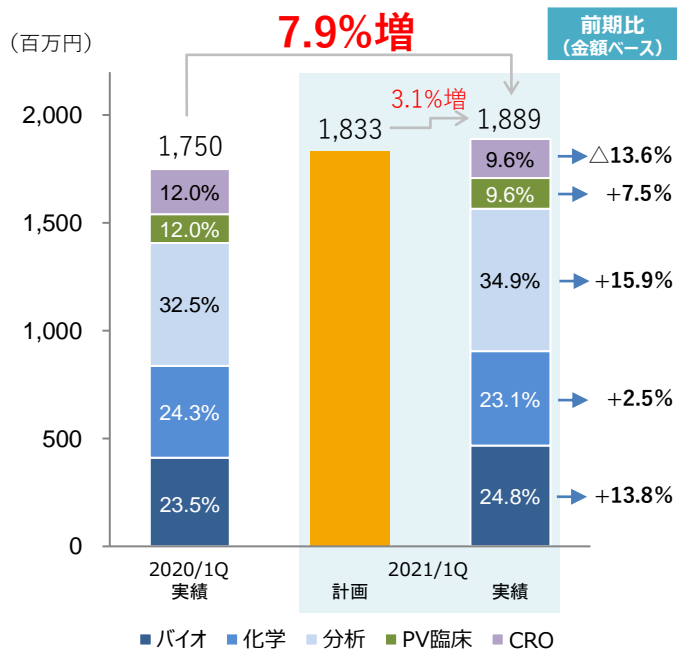
◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)



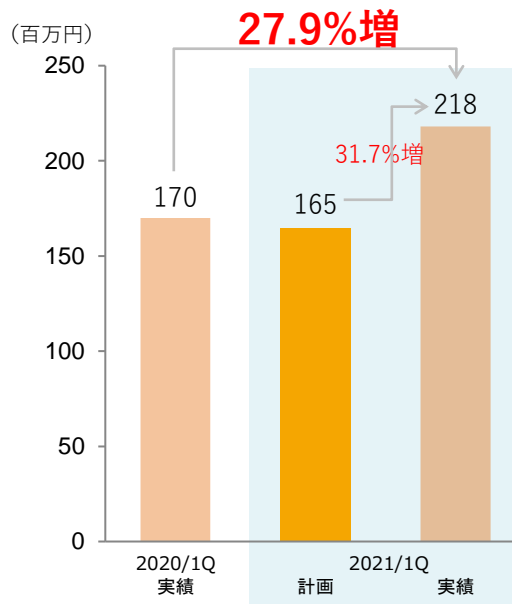
※ 計画は業種ごとに開示しておりません

- 研究者派遣部門は既存各分野が好調なことに加え、新たな取引分野の拡大もあり増収増益
- PCR検査関連・ワクチン関連等のコロナ特需的要素も取り込む
- 人材育成プログラムが充実していることも奏功し採用も順調に推移、さらなる拡大を目指し採用投資準備も進める

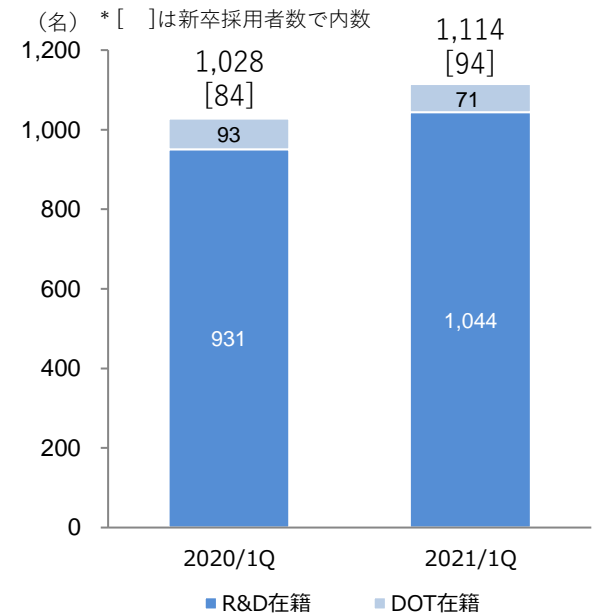
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)

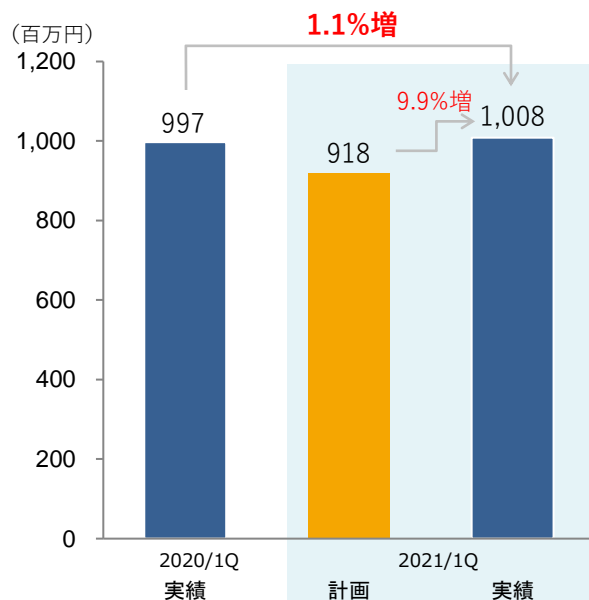


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

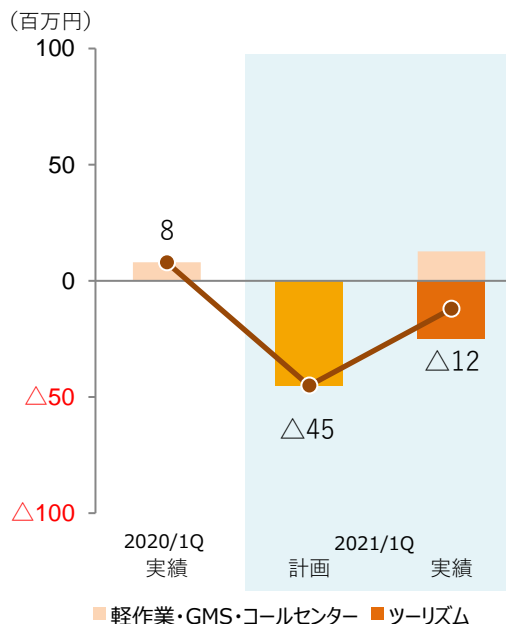
※在籍は3か月平均
※在籍数は現業社員のみ数字

- コロナ禍によりアパレル関連が減少するも、コロナ関連案件の特需的なオーダー増等があったコールセンター関連が順調に推移
- 軽作業関連では請負化の推進等、業容拡大を図り、今後の拡大に向けた準備を進める
- ツーリズム関連では、コロナ禍で業界が苦戦する中、(株)JTB沖縄と沖縄セルラー電話(株)が沖縄県で行う「リソースシェアリング（人材の転用）」事業に参画

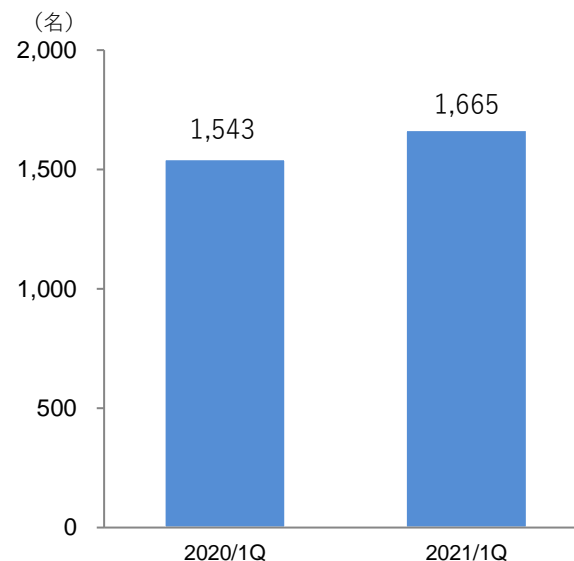
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



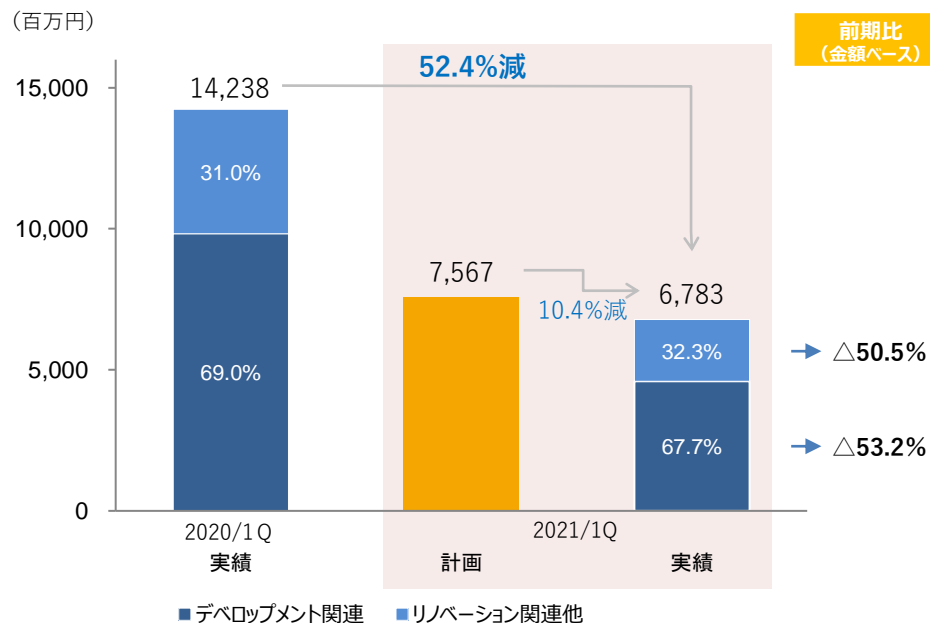
◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)



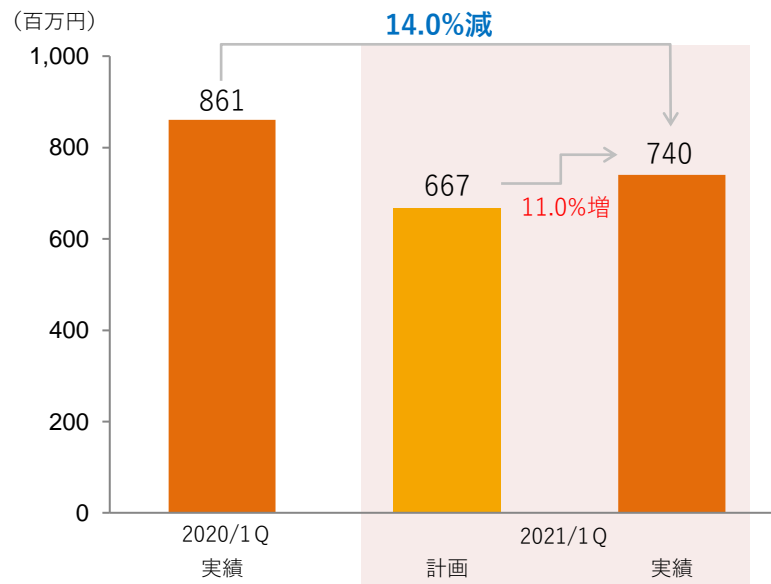
※在籍は3か月平均
※在籍数は現業社員のみ数字

- 不動産のバブル的状況が続く中、慎重な事業展開を進めながらも、主力のデベロップメント関連では、昨年設定のコミットメントラインを利用して優良物件の仕入れを進める
- 緻密なマーケティングによって高収益物件の引渡しが進むなど、概ね計画通りに進捗
- 昨年第1四半期に大型物件があったため前年同期比では大幅減収

◆ 売上高 構成比



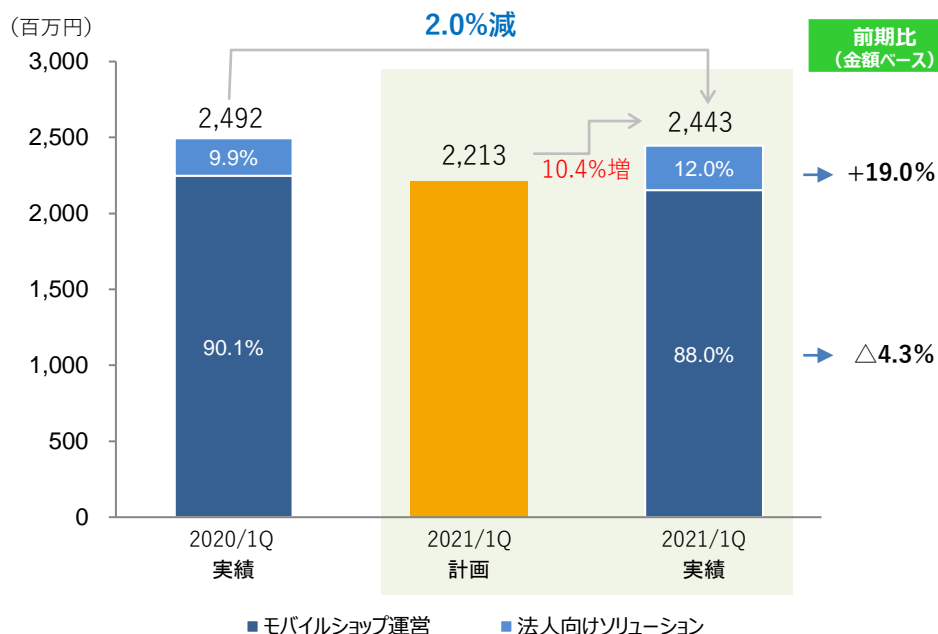
◆ セグメント利益



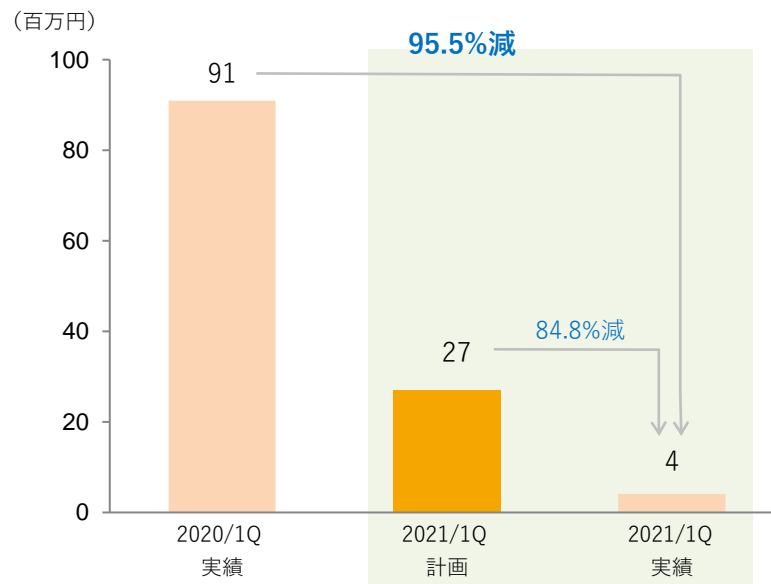
※ 計画は業種ごとに開示しておりません

- 各通信事業者のオンライン専用新プラン導入等により、業界が再び大きな変革期を迎える
- 優良店舗網構築のためのスクラップ&ビルドや、販売促進施策の実施、人材育成等に先行投資を行ったため、一時的に大幅な減益
- 引き続きドミナント化を進め、残存者メリット享受に向けた施策を推進

◆ 売上高 構成比



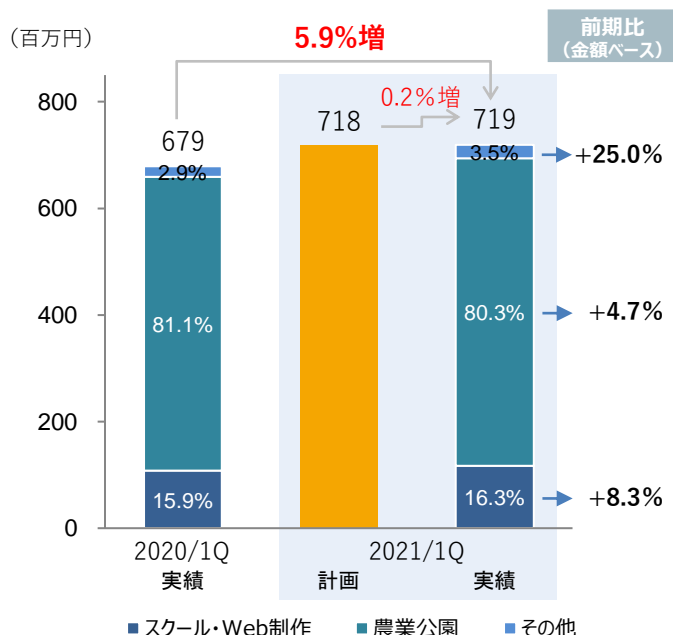
◆ セグメント利益



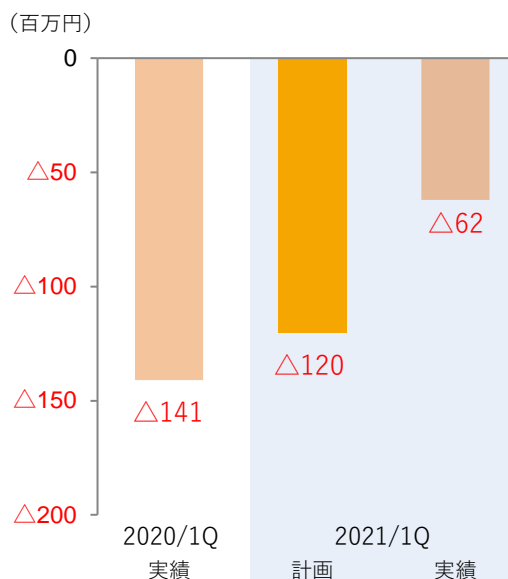
※ 計画は仕向け別に開示していません

- 農業公園の施設運営管理に関しては、本来「密」にならない屋外施設であるという社会的認知の高まりと、その強みを活かした適切な誘引施策により、入園者数もコロナショック以前を上回るなど順調に回復

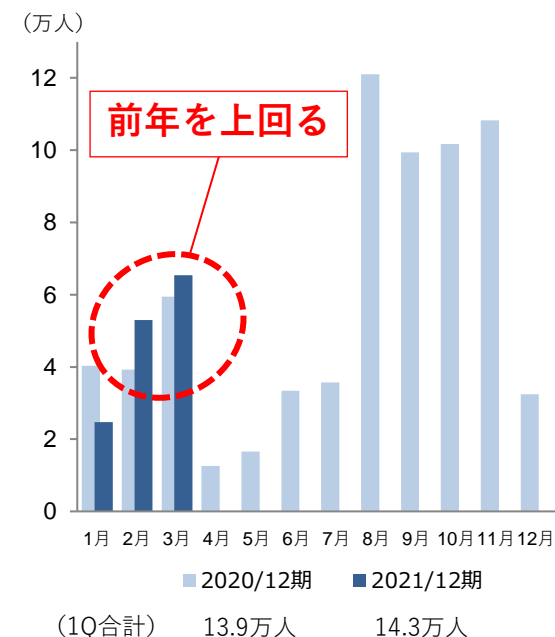
◆売上高 構成比



◆セグメント利益



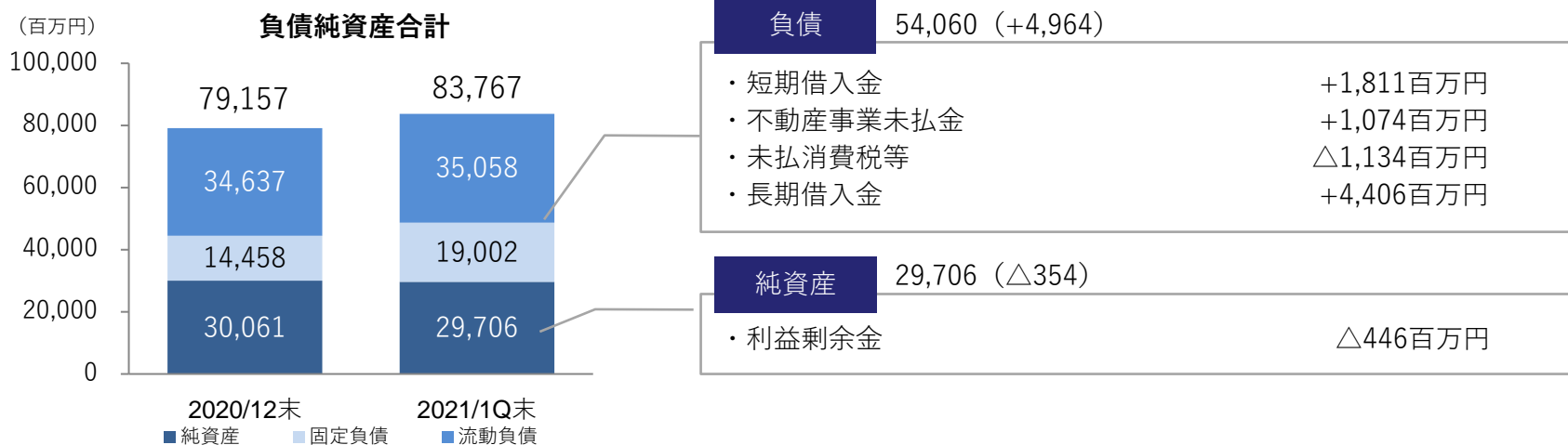
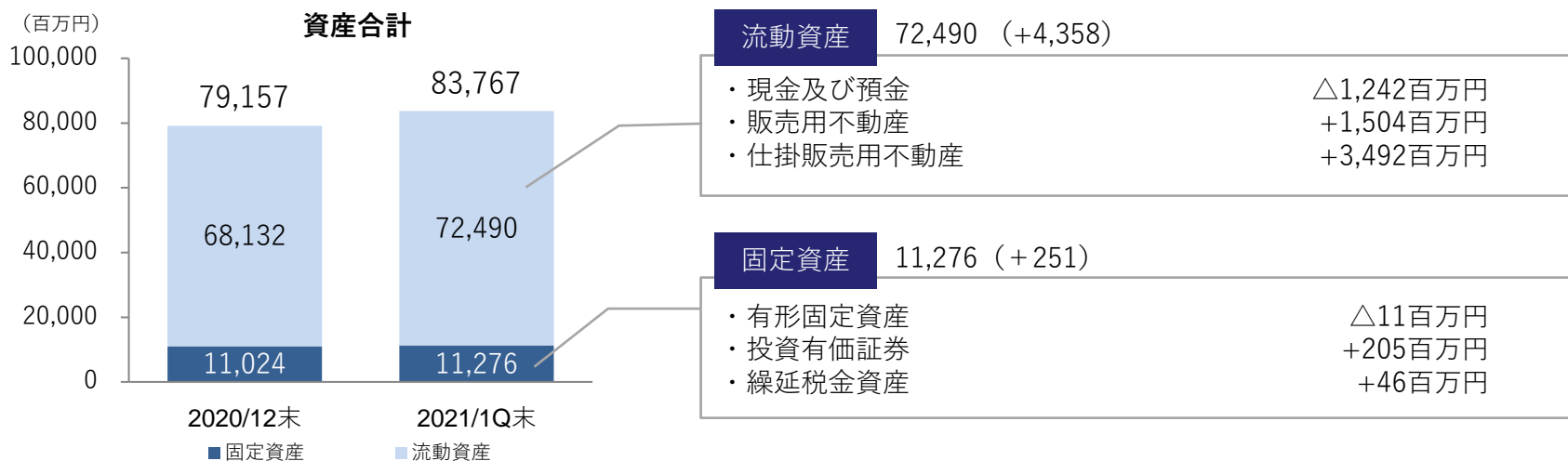
◆月次入園者数



※ 計画は業種ごとに開示しておりません

財政状態 B/S

- 不動産物件の仕入れを進めたことで総資産は増加





Ⅱ. 2021年12月期 業績見通し

2021年12月期 通期業績見通し

- 新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念され、先行きの不透明感が強まる中 **増収及び営業利益の増益**を見込む
- 前期に営業外収益に計上した新型コロナ関連の助成金を今期見通しには含まず
- 前期の親会社株主に帰属する当期純利益には、子会社の売却や合併に伴い繰延税金資産を見直したことによる影響を含む

単位：百万円、%	2020/12 実績	2021/12 見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	143,571	150,194	6,623	4.6%
営業利益	6,251	6,465	214	3.4%
経常利益	6,786	6,388	△397	△5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,913	4,573	△1,340	△22.7%
一株当たり利益（円）	341.35	262.02	△79.33	△23.2%
一株当たり配当金（円）	101.7	78.7	△23.0	△22.6%

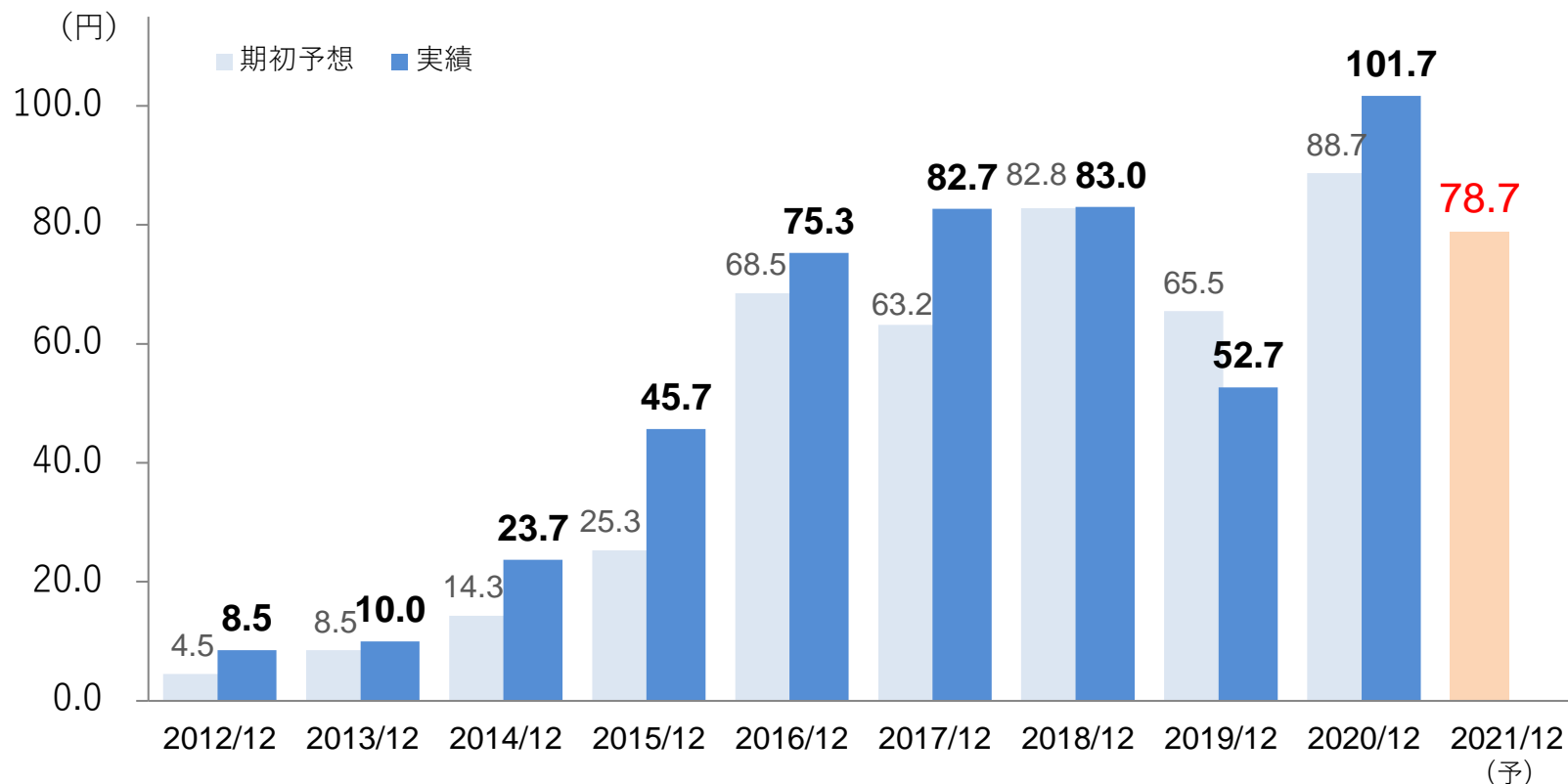
セグメント別 通期業績見通し

- 基幹の人材・教育ビジネスは、複数業種のポートフォリオ力と成長領域への注力により堅実に伸長（特にファクトリー事業が伸長）
- 不動産ビジネスは、市況が読みにくい中、慎重な姿勢を継続し次の投資機会をうかがう

(単位：百万円)			2020/12 実績	(利益率)	2021/12 見通し	(利益率)	前期比	
							増減額	増減率
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	55,102		65,964		10,861	19.7%
		セグメント利益	2,632	(4.8%)	3,476	(5.3%)	843	32.0%
	テクノ事業	売上高	17,003		18,135		1,132	6.7%
		セグメント利益	2,019	(11.9%)	1,908	(10.5%)	△110	△5.5%
	R & D 事業	売上高	7,200		7,876		675	9.4%
		セグメント利益	843	(11.7%)	849	(10.8%)	5	0.6%
セールス&マーケティング事業	売上高	3,835		4,849		1,013	26.4%	
	セグメント利益	18	(0.5%)	△23	(—)	△42	(—)	
計 (参考)		売上高	83,142		96,825		13,683	16.5%
		セグメント利益	5,515	(6.6%)	6,210	(6.4%)	695	12.6%
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	48,081		40,363		△7,717	△16.1%
		セグメント利益	3,550	(7.4%)	2,167	(5.4%)	△1,382	△38.9%
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	9,133		8,769		△364	△4.0%
		セグメント利益	240	(2.6%)	190	(2.2%)	△50	△20.8%
その他	その他事業	売上高	3,214		4,236		1,022	31.8%
		セグメント利益	△200	(—)	170	(4.0%)	370	(—)
合 計		売上高	143,571		150,194		6,623	4.6%
		消去又は全社	△2,854		△2,274		(—)	(—)
		営業利益	6,251	(4.4%)	6,465	(4.3%)	214	3.4%

配当性向30%を目安とし、安定的かつ継続的な配当成長を目指す

一株当たり配当金の推移



※業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

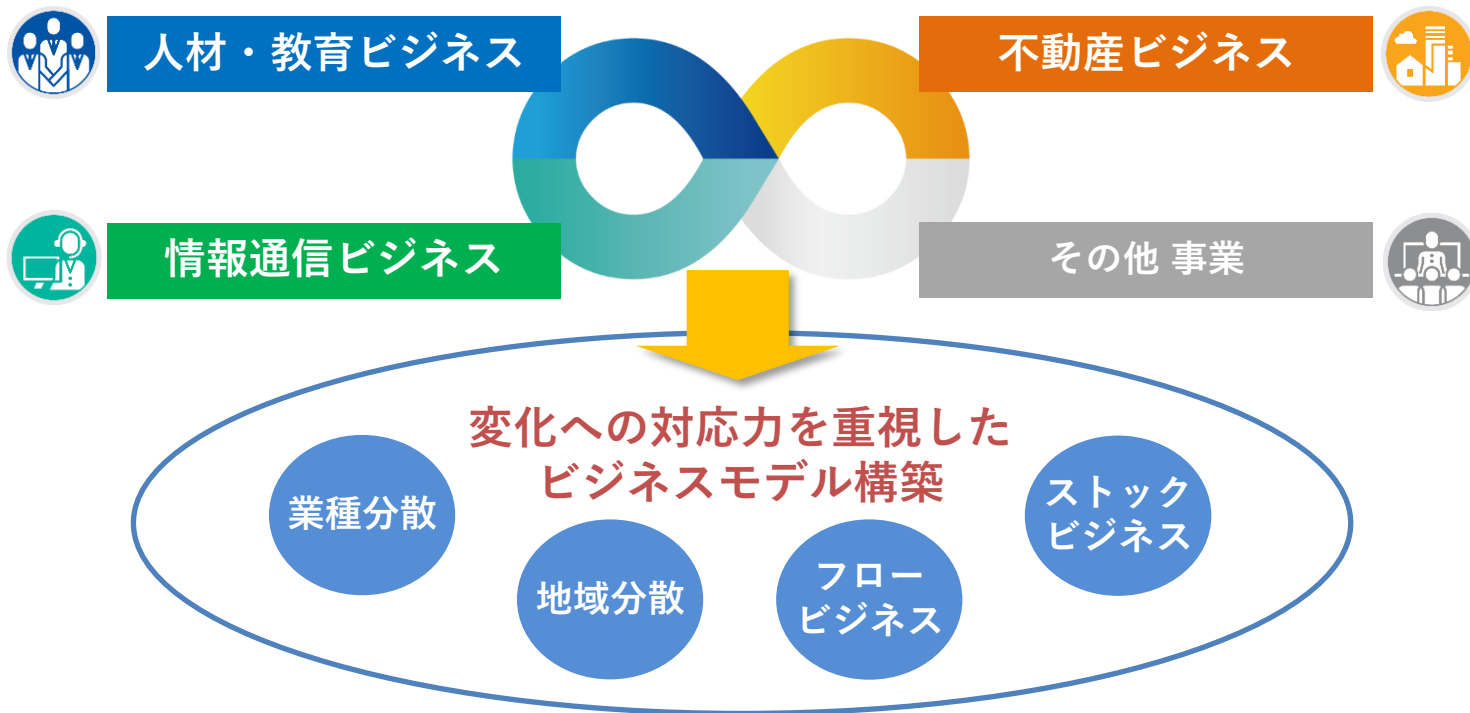


Ⅲ. Appendix

ワールドホールディングス会社案内

成長戦略の全体像

複数事業・複数業種に展開し バランスのとれた安定経営基盤を構築



新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念され 先行き不透明感が強まる中

時流の変化を見定め、市場ニーズを的確に捉え成長を図る

これまでは規模拡大のためのM&Aは行わず 新規事業開拓のためのM&Aや企業再生を主に実施

青字：人材・教育ビジネス
緑字：情報通信ビジネス
橙字：不動産ビジネス



主な関係会社

人材・教育ビジネス




人と仕事をつなぐ
～新しい“働く”カタチ～

-  ワールドインテック
-  ワールドスタッフイング
-  ワールドコンストラクション
-  ワールドネクスト
-  DOT ワールド
-  JW ソリューション
-  TOHOWORLD
-  台湾英特科
-  WORLD INTEC AMERICA
-  EngmaIntec
-  九州地理情報株式会社
-  NIKKEN TECHNO CO., LTD.
-  SAINS



情報通信ビジネス

ITで人と人をつなぐ
～新しい“コミュニケーション”のカタチ～

-  e-support
-  NETWORK SOLUTIONS
-  ベストITビジネス

その他 事業

-  株式会社 クラウドイット
-  Advan 株式会社アドバン

主な関係会社：36社
 < 連結子会社33社・非連結子会社3社 >

不動産ビジネス

人と住まいをつなぐ
～新しい“まちづくり”のカタチ～

-  ワールドレジデンシャル
-  ワールドアイシティ
-  ワールドウイステリアホームズ
-  ニチモリアルエステート
-  コンパックス
-  WORLD DEVELOPMENT INDONESIA
-  MIKUNI
-  ワールドミクニ
-  エムズワールド
-  オオマチワールド

金融関連

-  ワールドアセットマネジメント

みらい債権回収

ものづくりを中心とした幅広い領域をシームレスにカバー



研究・開発

R&D

設計・開発

テクノ

製造

ファクトリー

物流

ファクトリー

販売

セールス&マーケティング

アフター
サービス
テクノ

顧客にとっては
あらゆる分野の業務も
1社で対応できる
ニーズ対応力

Value

働く側にとっては
入社の間口が広い、スキルアップ、
キャリアアップの方向性が豊富
広がる可能性

R&D事業

バイオ・化学
研究員、CRO

約1,100名

テクノ事業

設計・開発
エンジニア

約2,750名

ファクトリー事業

製造・物流
オペレーター

約20,200名

**セールス&
マーケティング事業**

販売・軽作業

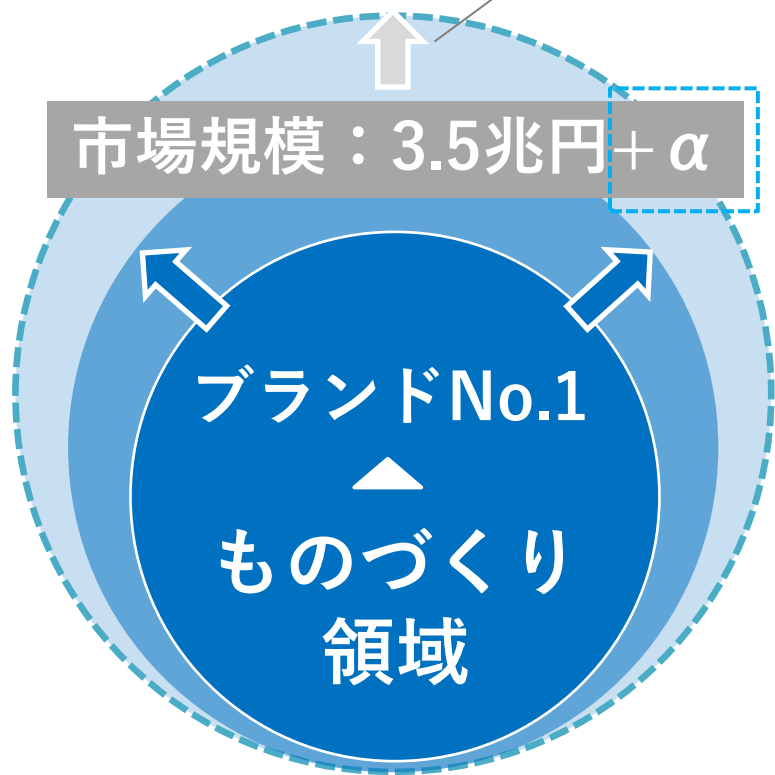
約1,650名

約**25,700**名の稼働人数

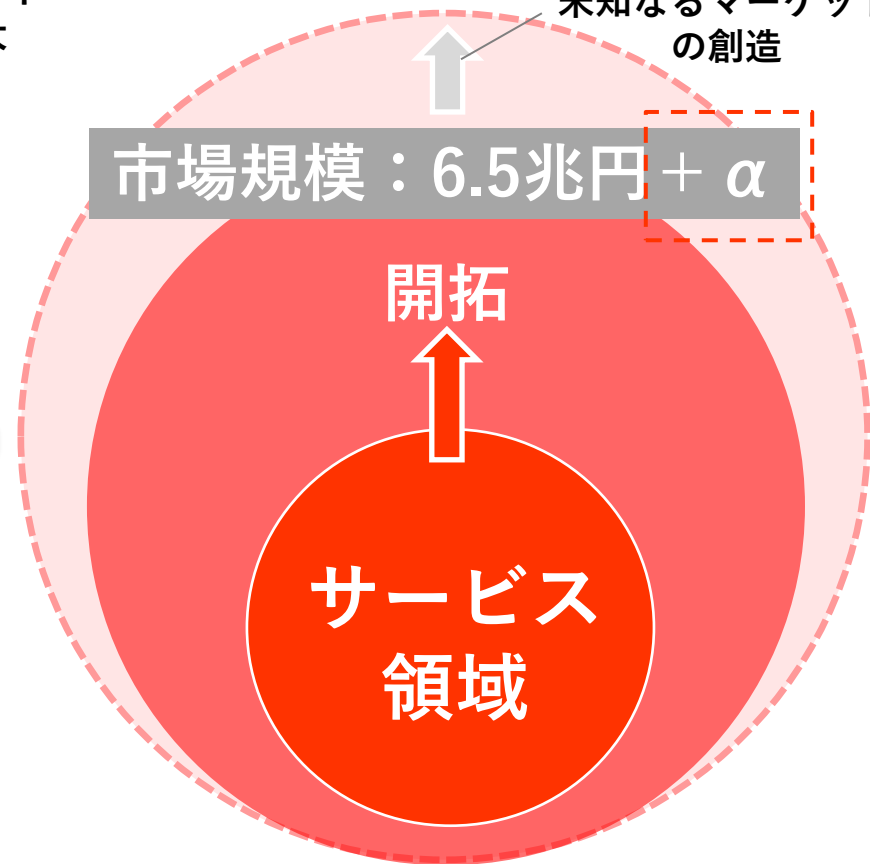
※2021年3月末時点

コロナ禍を背景にアウト
ソーシング市場拡大

未知なるマーケット
の創造



+



ものづくり領域でブランドNo.1へ & サービス領域での事業開拓

現物不動産

デベロップメント

マンション・戸建
事業用地開発

東北圏・首都圏・近畿圏・九州圏で
主要都市に特化し事業展開



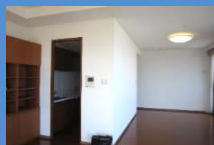
レジデンシャル上板橋パークゲート
《東京都》

不動産再生

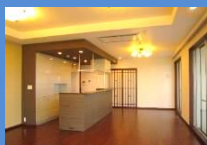
リノベーション
再開発

全国でリノベーション等の
不動産再生関連事業を展開

Before



After



流通 仲介

プロパティ
マネジメント

不動産 金融

債権回収
アセット
マネジメント



フロービジネス

ストックビジネス

フロービジネスとストックビジネスの融合、ビジネスサイクルの違う領域の融合により安定化

現物不動産の分野では適正規模にて拡大、不動産金融で成長を図る

モバイルショップ

九州地域最大級の店舗網

携帯電話ショップを、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、長崎県、沖縄県にて展開

- ・ Softbank ショップ
- ・ au ショップ
- ・ Y!モバイル ショップ

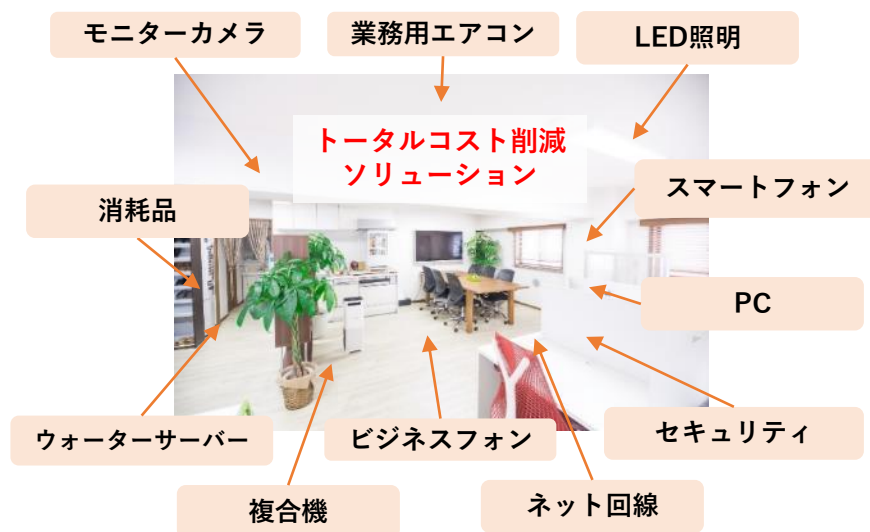
36店舗

2021年3月現在



法人ソリューション

企業向けに、各種商材の販売を通して、電力、通信費等のコスト削減提案を実施



コールセンター

個人・法人向けに様々な商材を販売



全国 12か所で自然あふれる農業公園等を展開

直営施設4か所と指定管理・業務受託等 計12か所の運営



自家製のソーセージ菓子、ビールなどの製造・販売も行う

グループシナジー

雇用創出・地方創生

地域に根差した幅広い雇用創出と地域活性化による地方創生

人が生きるカタチ



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

株式会社ワールドホールディングス

広報IR室 西原 範朗

TEL 03-3433-6005

E-MAIL irinfo@world-hd.co.jp

URL <https://www.world-hd.co.jp/>